

(一社)山形県経済社会研究所30周年記念

2017連合山形地域フォーラム

～テーマ／人財が集まる山形の実現に向けて～

2017連合地域フォーラムの開催にあたって

連合山形 会長 岡田 新一

連合山形は、働く者の処遇改善と県内企業の活性化を一体のものとして推進するために、昨年に引き続き「連合山形地域フォーラム」を開催することとなりました。

具体的には、山形県は急速な高齢化や人口減少、県外への人口流出が進み、労働力確保が厳しい状況であり、全国的には長時間労働による過労死や過労自殺、過労疾病などが大きな社会問題となっています。

こうした中で、健康で安心して働きながら生活ができ、「人財」が集まり魅力ある山形を創るために「働き方改革」を含めて何が必要なのか、何ができるかなど労働側だけでなく経営側、行政などと一体となってお互いに課題を共有し、理解を深めることが重要と考えます。各位の積極的なご意見をお願いいたします。

プログラム

日 時	2017年4月17日(月) 13:00～16:00 (受付12:30)		
場 所	大手門パルズ 山形市木の実町12-37		
開 会	連合山形 副事務局長 舘内 悟		
主催者挨拶	連合山形 会長 岡田 新一		
基調講演	「働きたい、働き続けたい魅力ある企業をめざして」 ～労使で築くワーク・ライフ・バランス～ 講師：山形航空電子株式会社 総務部長 菊地 暢義 様		
取組報告	「山形県Uターン就職の現状」 報告：山形県Uターン情報センター 人材確保コーディネーター 佐川 孝俊 様		
パネルディスカッション			
(コーディネーター)	一般社団法人山形県経済社会研究所 顧問	高木 郁朗	
(パネラー)	山形県商工労働部 部長	大森 康宏 様	
	株式会社秀電社 代表取締役社長	高橋紀美子 様	
	東北芸術工科大学 学生	名和 隆介 様	
	一般社団法人山形県経済社会研究所 所長	立松 潔	
	連合山形 会長	岡田 新一	
閉 会	一般社団法人山形県経済社会研究所 専務理事 遠藤 吉久		

共催 連合山形・(一社)山形県経済社会研究所

後援 (一社)山形県経営者協会・(一社)山形県労働者福祉協議会・東北労働金庫山形県本部・全労済山形県本部

プロフィール

講師



菊地 暢義 (きくち のぶよし)

1986年に国学院大学文学部卒業後、メーカー営業経験を経て、1991年日本航空電子工業株式会社に入社。営業・マーケティング部門経験後、1995年に山形航空電子株式会社へ転籍。現在、山形航空電子株式会社総務部長。

コーディネーター



高木 郁朗 (たかぎ いくろう)

1961年に東京大学経済学部を卒業、1976年山形大学人文学部に赴任、その後同大学教授、日本女子大学家政学部教授、山形県経済社会研究所所長など歴任。現在山形県経済社会研究所顧問(連合山形シンクタンク)、日本女子大学名誉教授。著書「労働組合の進路(第一書林)」 「国際労働運動(日本経済新聞社)」

パネラー



大森 康宏 (おおもり やすひろ)

1996年に東京大学法学部を卒業後、同年自治省に入省。その後総務省、内閣府勤務のほか鹿児島県財政課長、大阪府財政課長、地方公務員共済組合連合会資金運用部長、山形県環境エネルギー部長を歴任。現在、商工労働部長。



高橋紀美子 (たかはし きみこ)

1975年産業能率短期大学卒業後、家業の株式会社秀電社に勤務。1996年に中小企業診断士事務所を開設。一般社団法人日本補聴器販売店協会常務理事、販売倫理委員長、副理事長を歴任。現在、株式会社秀電社、株式会社ミミプラザ代表取締役社長。



名和 隆介 (なわ りゅうすけ)

埼玉県出身。東北芸術工科大学デザイン工学部建築環境デザイン学科在学。1年間NPO法人.jp山形支部所属。



立松 潔 (たてまつ きよし)

1972年に一橋大学大学院経済学研究科(修士課程、博士課程)修了。1976年山形大学に赴任、その後、同大学人文学部教授を歴任。現在、山形県経済社会研究所所長(連合山形シンクタンク)で山形県の雇用労働に関する調査研究を行う。山形大学名誉教授。



岡田 新一 (おかだ しんいち)

1975年に県立新庄農業高校卒業後、戸沢村役場採用。1996年に退職し、自治労山形県本部書記長就任。その後、連合山形事務局長、自治労山形県本部委員長を歴任。現在、連合山形会長。